

大腸菌由来ポリヌクレオチドホスホリラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0608

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	ポリヌクレオチドホスホリラーゼ (PNPase) は、リン酸加水分解的な3'から5'のエクソリボヌクレアーゼ活性と3'末端オリゴヌクレオチドポリメラーゼ活性を持つ二機能酵素です。また、細菌、植物、ヒトにおけるmRNAの処理と分解にも関与しています。
用途	ポリヌクレオチドホスホリラーゼ (PNP) は、複製エラーから生じる自発的変異がPNP欠損株で減少することを示す研究に使用されました。また、PNPaseの不在がE. coli細胞をUVに感して感受性にするを示す研究にも使用されており、これはPNPがUV損傷の生存に役割を果たしていることを示唆しています。
別名	PNPase; ヌクレオシド二リン酸:ポリヌクレオチジル転移酵素; ポリリボヌクレオチドヌクレオチジル転移酵素; ポリヌクレオチドホスホリラーゼ; ポリリボヌクレオチドホスホリラーゼ; EC 2.7.7.8; 9014-12-4

製品情報

種	大腸菌
由来	E. coli
形態	20 mM HEPESバッファーpH 7.9、0.1 mM EDTA、2 mM DTT、12.5 mM MgCl ₂ 、200 mM KCl、21.4% (w/v) グリセロールの溶液として供給されます。
EC番号	EC 2.7.7.8
CAS登録番号	9014-12-4
単位定義	1ユニットは、pH 9.1、37°Cで15分間に1.0μモルのADPを重合し、1.0μモルの無機リン酸を放出します。

保管・発送情報

保存方法	-70°C
------	-------